

令和7年度 上越市障害者自立支援協議会 第2回全体会

1 日時

令和8年2月24日（火）午後2時～午後3時50分

2 場所

上越市役所木田第一庁舎4階401会議室

3 次第

(1) 開会

(2) 挨拶

(3) 内容

- ①令和7年度における各部会の取組状況について（報告、意見交換）
- ②地域生活支援拠点等機能強化事業の実施状況について（説明）
- ③令和8年度当初予算案の概要について（説明）
- ④次期障害福祉計画に係るアンケート調査の回答状況について（説明）
- ⑤次期障害福祉計画に係る全体会開催のスケジュールについて（説明）
- ⑥日中サービス支援型グループホームの実施状況について（説明）
- ⑦その他

(4) 閉会

4 出席者（敬称略）

- ・参加者：大久保座長、片桐副座長（くらし部会長）、平原こども部会長、
江部相談支援部会長、山口権利擁護部会長、小林当事者部会長、
鈴木、植木、重野、阿部、榎本、木花、吉田、松原、西山
- ・事務局：健康福祉部 星野部長
福祉課 丸田課長、和栗副課長、小松係長、北島主任、
すこやかなくらし支援室 高宮室長、神戸上席保健師長、
こども発達支援センター 福田所長

5 内容（要旨・敬称略）

(1) 開会

(2) 挨拶

【事務局 星野部長】

- ・本日は大変お忙しい中、ご出席いただき、そして、日頃から市の障害福祉施策の推進に当たり、多大なるご理解、ご尽力をいただいていることにお礼を申し上げる。

- ・今年度の自立支援協議会については、各部会での活動を中心に進めていただいております。昨年度に抽出した課題に対し、様々な取組を進めてきていただき、感謝を申し上げます。
- ・本日は、各部会の取組状況と取組方針の他、地域生活支援拠点等の実施状況や、令和8年度当初予算案の概要、次期障害福祉計画に係るアンケート調査の回答状況、令和8年度の全体会開催のスケジュール等についてご報告をさせていただきます。
- ・限られた時間ではあるが、忌憚のないご意見をいただきたい。

【大久保座長】

- ・年度末のお忙しい中お集まりいただき、感謝申し上げます。
- ・本日は、各部会の活動報告をしていただくとともに、次年度の活動について意見をいただきたい。
- ・そのほか、日中サービス支援型グループホームの実施状況について、報告いただく。

(3) 内容 ①令和7年度における各部会の取組状況について（報告、意見交換）

【大久保座長】

- ・令和7年度における各部会の取組状況についてと来年度の各部会の取組方針について、共有したい。こども部会、相談支援部会、くらし部会、権利擁護部会、当事者部会の順に説明願いたい。

【こども部会 平原部会長】※資料1-1、参考資料1及び2により説明

- ・こども部会では、4つの項目について取組を行った。
- ・関係機関の連携と人材育成を目的とし、11月14日に「こどもの将来を見据えた支援を考える研修会」を開催した。
- ・来年度は教育委員会と連携し、特別支援コーディネーター研修の中で、今年度協議した内容を、組み入れたい。
- ・就労選択支援の支給決定や導入の流れについては、現在のイメージを表にまとめた。
- ・サービスのあり方の検討と保護者の自助力の向上に向けた取組については、こどもの居場所について協議をしたほか、今後は、放課後等デイサービス事業所向けのアンケートを実施する予定である。
- ・アンケート結果を参考にしながら、上越市における放課後等デイサービスを含めたサービスの在り方について、関係機関も交えて意見交換をしたい。あわせて、保護者の自助力の向上についても話し合っていきたい。
- ・人材育成の研修会については、地域課題として継続して協議していきたい。

【相談支援部会 江部部会長】※資料 1-2 により説明

- ・相談支援部会では、計画相談支援の提供体制の検討と災害時への対応をテーマに協議を行ってきた。
- ・計画相談支援の提供体制の検討では、セルフプランの導入に向けて、市内の相談支援専門員に、プロジェクトチームメンバーとして参加していただき協議を行った。
- ・セルフプランの導入にあたって、本人が希望すること、障害福祉サービス給付費に関するサービスが1つで調整等が入らない、複数の支援者からセルフプランが望ましいと判断され、さらに、サービスの更新を迎えた方を対象として考えている。(サービス等利用計画案については別紙のとおり)
- ・セルフプラン作成の補助者として、すこやかにくらし支援室または地域包括支援センターが、申請者の希望を聞き取りながら作成を支援するという形で考えている。
- ・今後のスケジュールとして令和8年度は保護者や関係機関へ周知を行い、意見を聞きながら、令和9年度の本格実施へつなげていきたい。
- ・相談支援専門員の育成、相談支援体制に関しては来年度も引き続き協議していく。
- ・災害時への対応については、新潟県防災ナビの利用の普及啓発を研修などの機会を捉えて案内をしていく。
- ・サービス等利用計画と緊急支援事業及び災害時の個別避難計画の有効な連動について、来年度、考えていきたい。

【片桐副座長（くらし部会長）】※資料 1-3 により説明

- ・今年度の成果として、市の移動支援助成について、知的障害のある方でも理解しやすいようなパンフレットを作成した。
- ・このほか、強度行動障害者支援を考えるため、上越地域強度行動障害支援者連絡会を立ち上げた。
- ・連絡会はマネジメントの立場にある施設職員を中心とする本体会議と利用者と直接対応する施設職員を中心とする人材育成チームに分かれて議論を行っている。
- ・住まいに関する議論については、人手不足など課題が多く来年度も継続していく。

【権利擁護部会 山口部会長】※資料 1-4、参考資料 1 及び 2 により説明

- ・今年度のテーマは精神障害がある方の入院期間を長期化させないための必要な支援ということで、取組を実施した。
- ・1点目として、埼玉県の「やどかりの里」から講師を招いて、権利擁護に関する研修会を開催した。
- ・81人の参加者があり、「やどかりの里」が実施している地域移行や退院支援、精神障害を患っておられる当事者の方が職員として利用者支援を行うピア活動について、講演いただいた。

- ・2 つ目は、上越市における長期入院患者の実態把握のためのアンケート調査とヒアリングの実施で、市内 4 病院から協力いただいた。
- ・この調査結果を踏まえて、令和 8 年度は入院期間を長期化させないための必要な支援と権利侵害に関する現状把握をテーマに取り組んでいく。

【当事者部会 小林部会長】※資料 1-5 により説明

- ・今年度は、災害とコミュニケーションをテーマに取り組んできた。
- ・災害時に予想される困りごとについて議論を行ったほか、市危機管理課の協力を得て市身障者体育館に実際に避難所を設営していただいた。
- ・避難所での過ごし方をイメージし、課題等についてディスカッションを行った。
- ・それぞれに障害の特性が違うことから、自分の障害特性を理解してもらうためのツールの必要性やヘルプカードの有効な活用などについて意見があった。
- ・来年度も引き続き、災害とコミュニケーションをテーマに取り組むとともに、市の総合防災訓練に参加していきたい。

～意見交換～

【片桐副座長（くらし部会長）】

- ・子ども性暴力防止法が、令和 8 年 12 月 25 日に施行されるが、各事業所において対応を考えているか。

【こども部会 平原部会長】

- ・すべての事業所に研修を受講させる自治体もあると聞いている。
- ・小規模事業所は、法の趣旨等を理解しているのかと疑問に思うこともある。

【西山】

- ・セルフプランという言葉だけが独り歩きしてしまわないよう、丁寧に説明していく必要があるのではないか。

【片桐副座長（くらし部会長）】

- ・セルフプランは、本人が希望するという前提があるが、相談支援専門員が足りないという実情もある。

【相談支援部会 江部部会長】

- ・選択肢の 1 つとしてセルフプランがあるというふうに考えている。

【こども部会 平原部会長】

- ・上越強度行動障害者支援者連絡会は、とてもいい取組だと思う。実施状況などについて教えて欲しい。

【片桐副座長（くらし部会長）】

- ・先日、1 回目の人材育成チームでの会議を開催した。利用者とのコミュニケーションの難しさや利用者家族の対応など様々な悩みが出された。
- ・今後は座学のほかに、いくつかの事業所を見学し、事例検討を行っていくことを考えている。
- ・現在、構成メンバーに入っていない NPO 法人や事業所についてもアプローチしていきたい。

【松原】

- ・強度行動障害者の受け入れている日中支援型のグループホーム作っている民間事業所の方の意見も、聞くべきではないか。

【片桐副座長（くらし部会長）】

- ・今後の検討課題としたい。

(3) 内容② 地域生活支援拠点等機能強化事業の実施状況について（説明）

【事務局 小松係長】 ※資料 2 により説明

- ・地域生活支援拠点等の機能強化事業における役割や支援状況、地域課題などを資料にまとめたのでご覧いただきたい。
- ・地域生活支援拠点等機能強化事業として、市内 4 ヶ所の地域生活支援拠点等にコーディネーターを 1 人配置し、基幹相談支援センター（福祉課、すこやかなくらし支援室）や市内の相談支援事業所等と連携しながら、相談支援、緊急時の対応、体験の機会の場の支援などを実施しながら、障害のある人が地域で安心して暮らしているよう支援を進めている。
- ・具体的な役割として、緊急時の対応では、4 法人から、輪番による 24 時間体制で、いつでも連絡がつくような体制を整えて、対応いただいている。
- ・地域移行の推進について、主に精神科病院等で長期的に入院をしている方の地域への移行支援を行っている。
- ・専門的な人材の確保や育成として、4 ヶ所の地域生活支援拠点等に配置したコーディネーターが中心となって、グループを組んでおり、このグループの中で、定期的に事例の検討や情報の共有、日頃の悩み、計画相談に対する助言を行うなど、連携

を図りながら、人材の確保や育成を担っていただいている。

- ・続いて、役割における実際の支援等の状況を説明すると、緊急事態に備えた相談では、緊急時を想定した事前の相談について、障害特性を踏まえながら、緊急支援シートを作成し、対応している。
- ・緊急事態の対応については、ショートステイの調整や入院期間の調整、親族への引き渡しの支援を実施している。
- ・地域移行の推進、体験機会の場の確保等では、就労継続支援B型の体験利用や定期的な面談、体験利用に向けた支援などを行っている。
- ・専門的な人材の確保育成では、コーディネーターが中心となり、グループ化した相談支援事業所間において、定期的な事例検討会やケースの情報共有会議を通じ、よりよい支援の方法の検討や助言を行うとともに、経験の浅い相談支援専門員の育成も実施している。

～質疑応答～

【松原】

- ・緊急時の相談件数が少ないという気がする。周知の方法はどうなっているか。

【事務局 小松係長】

- ・相談支援専門員を通じ、行っている。

【権利擁護部会 山口部会長】

- ・緊急時のショートステイの調整で、グループを越えて連携した事例はあるか。

【こども部会 平原部会長】

- ・今年度は、そのような事例はないが、令和6年度に行った事例がある。

(3) 内容③ 令和8年度当初予算案の概要について（説明）

【事務局 丸田課長】 ※資料3により説明

- ・令和8年度における上越市全体の予算は約1,048億円で、うち福祉課関連の予算は、約72億7,200万円となっている。
- ・新たな事業や廃止した事業はないが、移動支援事業では、タクシー利用券を2万4,000円から2万6,000円に拡充した。
- ・そのほか、福祉バス事業について、大型バスの老朽化が著しいことから令和8年12月に更新する予定である。

～質疑なし～

(3) 内容 ④ 次期障害福祉計画に係るアンケート調査の回答状況について(説明)

【事務局 北島主任】※資料4により説明

- ・令和7年10月に調査を実施した。今年度は新たな試みとして、オンラインでの回答受付を行った。
- ・調査結果については、令和8年度第1回全体会で報告する予定。

(3) 内容 ⑤ 次期障害福祉計画に係る全体会開催のスケジュールについて(説明)

【事務局 北島主任】※資料5により説明

- ・令和8年度は、次期障害福祉計画の策定年度であるので、全体会を5回開催したい。
- ・開催日時については、記載のとおり。
- ・全体会は障害福祉計画の策定に係る審議が中心となる。

～質疑なし～

(3) 内容 ⑥ 日中サービス支援型グループホームの実施状況について(説明)

【事務局 北島主任】

- ・障害者総合支援法では、日中サービス支援型グループホームは、自立支援協議会に対して運営状況等の報告と評価を受けることが求められており、必要に応じて助言・意見を受けることとされている。
- ・本日は日中サービス支援型グループホームを運営するソーシャルインクルー株式会社から桐山氏、岡部氏にお越しいただいたので、説明を受けたい。
(ソーシャルインクルー株式会社 桐山氏、岡部氏入室し、資料6により説明を受ける)

～質疑応答～

【西山】

- ・現在、男女合わせて20名の利用者がいるが、グループホーム入居前の市町村について、データはあるか。

【岡部氏】

- ・上越市内からの入居者は16名で他4名は市外からである。

【片桐副座長（くらし部会長）】

- ・上越市にとって大切な資源なので、頑張ってください。
- ・運営には苦勞されていると思うが、困りごとはあるか。

【岡部氏】

- ・サービス管理責任者が不在となっており、利用者にも迷惑をかけている。
- ・今後は研修体制を整えて、内部から擁立したいと考えているが、有資格者が退職した際に、即座に対応することが難しい。

【片桐副座長（くらし部会長）】

- ・各種帳票の作成や委員会の開催などやらなければならないことが多いが、必要であれば他の事業所と連携することも可能なので相談いただきたい。

【松原】

- ・現在の男女別の待機状況を知りたい。

【桐山氏】

- ・現在、男性、女性ともに複数名の待機者がいる。

【大久保座長】

- ・困難な状況もあるようだが、支援方針に基づいた、事業運営をお願いしたい。

(桐山氏、岡部氏退室)

(3) 内容 ⑦ その他

～なし～

(4) 閉会